

予定通り、ふれあいセンター第四学習室で50人近くの聴衆が見守るなか、2時から始まりました。外来種の全部がかならず問題を引き起こしているわけではないが、人のかってでその生息環境を移動さすべきではないということです。

最新の「ヒアリ」や日本の桜をすべて枯らせてしまうかもしれない「クビアカツヤカミキリ」の情報もされました。

質問のコーナーでは、小学校1年生が「自分の飼っているカメは外来種なのですが、外のカメも殺さずにする方法はないですか？」や「ハクビシンやタヌキが捕獲オリにかかっても処分できないのでなにかよい方法はないですか？」などに、講師はたじたじとなっていました。 難しい問題なのです。

